

原文 (英語): <http://www.go-nagano.net/blog/?p=5638>

2011/12/30 付 “Shinshu Tourist Destinations ‘Kizuna’ Declaration” Report #3: Nozawa Onsen Village

「信州観光地絆宣言」第3回レポート：野沢温泉村

- 当記事の日本語訳を見るには[こちら](#)をクリックしてください（長野県承認リンク） -



共同浴場「大湯」。野沢温泉村は温泉で知られており、14の共同浴場があります。



壮大な「道祖神祭り」は日本三大火祭りの一つです。

信州観光地絆宣言

こちらは「信州観光地絆宣言」の第3回レポートです。[第1回レポート](#)でお伝えしたように、「信州観光地絆宣言」は2011年10月24日に長野県商工会連合会および県下全70商工会によって野沢温泉村で発表されました。当宣言は、3月の東日本大震災および県北部地震の影響を受けて落ち込んだ県内観光の活性化のため、長野県の観光地どうしの絆を深め、再び力強く観光と商業を振興していくことを目的としています。[第2回レポート](#)では地震の被害から完全に立ち直った「野沢温泉スキー場」を取り上げました。この第3回レポートでは野沢温泉村の魅力を多角的にお伝えいたします。

温泉の村 - 人間のための「外湯」と食べ物のための「麻釜」

		
<p>中尾の湯は外観も美しく、スペースの広さが自慢です。</p>	<p>大湯の美しい外観。小さな仏像が正面に祀られています。</p>	<p>上寺湯には卵湯もあります。</p>
		
<p>秋葉の湯は大きな窓があり開放的な雰囲気です。</p>	<p>地元の女性たちが温泉で野菜を洗っています。</p>	<p>麻釜は野沢温泉の台所と呼ばれています。90度の源泉が湧き出しています。</p>

野沢温泉村は、名前の「温泉」が示すとおり、温泉で有名なところです。12月14日にオープンしたばかりのふるさとの湯も含め、14の「外湯」と呼ばれる共同浴場があります。外湯は村の人たちの共有財産ですが、彼らのおもてなしの心のおかげでゲストにも開放されています。外湯は入浴の場であるだけでなく、村の人たちとゲストのあたたかなふれあいの場でもあるのです。雰囲気のある温泉街をぶらぶら歩き、できるだけ多くの外湯に入ってみたら、素晴らしい体験になるでしょう！

野沢温泉の温泉の使い方でもう一つ興味深いことは、村の人たちが食べ物を洗ったり茹でたりするのに温泉を使っていることです（上記の最後の2枚の写真参照）。湯温90℃の「麻釜」と呼ばれる温泉があるのですが、そこに村の人たちは野菜や卵を持って来て温泉で洗ったり茹でたりするのです。このことから、麻釜は「野沢温泉の台所」と呼ばれています。麻釜は熱くて危険なので村民以外には開放されていません。しかし、ゲストでも温泉卵を作ることができる場所があります。麻釜の近くにある「足湯公園湯り」では、卵湯で自分の卵を茹でることができます。その間に、人間は隣りの足湯で足を温めることができます。ほかにもいくつかの外湯でも卵湯があります。

伝統 - 道祖神祭り、あけび蔓細工、野沢菜漬け

		
<p>道祖神祭り。1月15日の夜、祭りのために建てられた社殿とその他の奉納物に火をつけます。</p>	<p>あけび蔓細工の籠と鳩車。</p>	<p>野沢菜漬けの味付けは各家庭により異なります。</p>

野沢温泉の魅力は温泉とスキーにとどまりません。毎年1月15日、村の人たちは日本三大火祭りの一つに数えられる有名な**道祖神祭り**を祝います。道祖神は男の神様と女の神様が対になった神様で、あちらこちらの道沿いに祀られています。道祖神は私たちを厄災から守りますが、縁結びや子宝の神様でもあります。祭りは実に勇大です。村の男性たちによって祭りのために特別な社殿が作られ、1月15日の夜にその社殿とその他の奉納物に火が放たれます。次のお祭りはもうすぐですので、見に行かれてみてはいかがでしょうか。

野沢温泉の伝統工芸でいえば、**あけび蔓細工**が有名です。村に来ると、あけび蔓で編まれた手作りの「鳩車」をすぐに見つけることができるでしょう。鳩車は子供の玩具ですが、棚に飾るためのお土産としても最適です。あけび蔓はまた、籠などの実用品にも使われています。あけび蔓はとても丈夫なので長持ちします。上記のあけび蔓細工の籠と鳩車の写真（上記最後から2枚目）は、あけび蔓細工のお店で工房でもある三久工芸様のご協力で撮影させていただきました。このお店のウェブサイトは <http://www14.plala.or.jp/sankyu39/> です。

最後に、**野沢菜付け**をご紹介します（上記最後の写真参照）。野沢菜漬けは野沢温泉村のみならず長野県全体で大変人気がありますが、野沢菜の本場と言えば野沢温泉村です。野沢菜漬けはシンプルですがとてもおいしく、ご飯とよく合います。長野の人はお茶請けとしても野沢菜をいただきます。野沢菜漬けはほとんどの土産物店や食料品店で見つけることができます。

野沢温泉村は、国内のお客様も海外のお客様も歓迎しています。どうぞこの冬は野沢温泉村に泊まって、雪、温泉、日本文化をご堪能ください。お客様のご来訪は必ずや長野県、日本の復興の助けとなることと思います。お読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。

施設名	野沢温泉観光協会
営業内容	観光協会
住所	〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 9780-4
TEL / FAX	<ul style="list-style-type: none"> • TEL: 0269-85-3155 (日本の国番号: 81) • FAX: 0269-85-3883 (日本の国番号: 81)
E-mail	info@nozawakanko.jp
URL	<ul style="list-style-type: none"> • http://www.nozawakanko.jp/ (トップページ) • http://nozawakanko.jp/english/ (英語)
アクセス	http://nozawakanko.jp/english/ を参照 (“Access” をクリック)
営業日	年中無休。8:30 ~ 18:00。
料金	—
お問い合わせ	ファックスまたは電子メール
野沢温泉村全般に関する情報	上記の野沢温泉観光協会まで。

当記事の作成にあたり、長野県商工会連合会様、野沢温泉商工会様、野沢温泉観光協会様、野沢温泉村住民の方々および関係者様一同にご協力をいただきました。ここに心より感謝の意を表します。